

3類型	農林水産物	通巻番号	4 - 21 - 022
地域資源名	加賀丸いも	認定日	平成21年9月11日
地域	金沢市、小松市、白山市、能美市	所管省庁	財務省、農林水産省、経済産業省

事業名:本格加賀丸いも焼酎【のみよし】の製造・販売事業

会社名:株式会社宮本酒造店

所在地:石川県能美市宮竹町イ74

連絡先:TEL:0761-51-3333
FAX:0761-51-5355

H P : <http://www.mujou.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・加賀丸いもは、高級加賀野菜として地域内での知名度は高く、秀・優品は贈答品としての需要はあるものの、規格外品は廃棄又は菓子などの原料に使用される程度であった。
- ・本製品は、これまで十分な活用がされてこなかった規格外品を原料とした本格加賀丸いも焼酎であり、従来の芋焼酎にあった芋臭さを低減させる事に成功しただけでなく、「上品で甘い香味」と「口の中で広がる独特のコクと優しい旨味」を特長とする焼酎にまで製品価値を高めた。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・本製品の特長は「香味の良さとコクのある旨味」である。特に、香味に大きく寄与する香気成分は甘藷を主たる原材料とする芋焼酎と比較し平均値の8倍以上の値を示す。

市場性

- ・日本酒の消費低迷の中にあって、焼酎(単式蒸留焼酎)の消費の伸びは直近10年間で約2倍近い伸びを示している。
- ・本格加賀丸いも焼酎「のみよし」(720ml)は、平成19年秋に約2,600本製造・販売し、約1週間で完売。翌年には約1万本を製造販売し、約6ヶ月間で完売という実績を有す。

販路

- ・既存の平均的な芋焼酎と比べ高価格であることから、ターゲットは嗜好品への受容度が高く、かつ所得水準も高い中高年男性向けと設定して需要開拓を行う。具体的には、百貨店や特産品のアンテナショップ、こだわりの酒類を扱う料飲店、インターネットによる通信販売等を中心に需要開拓を行う。

地域における関係事業者等との連携

- ・地域産業界では材料供給面や販路応援でJA能美、JA根上、PR面や開発面、販路拡大等で地元経済団体の能美市商工会、能美市観光物産協会、行政では能美市や石川県、石川県産業創出支援機構と連携する。



【本格加賀丸いも焼酎
「のみよし」】



【加賀丸いも】